

YOSANO

広報よさの

No.103

2014

9

○今月の表紙

サマーチャレンジ2014-(8月7日撮影)

○主な記事

02 町政懇談会 (Q & A)

10 アベリスツイス交流高校生派遣事業

24 加悦谷高校生徒と町長との対話授業

特集1 皆さんの疑問にお答えします！

町政懇談会 Q&A



●地区別参加人数

地区	開催日	人数
与謝地区	7/1	43人
加悦地区	7/3	51人
桑飼地区	7/14	35人
弓木地区	7/15	35人
岩滝地区	7/18	26人
男山地区	7/22	32人
三河内地区	7/25	39人
岩屋地区	7/28	24人
四辻地区	7/29	44人
山田地区	8/1	29人
石川地区	8/5	49人

7月1日から8月5日までの期間、町内11カ所で開催した町政懇談会。今回はテーマを絞らず「町政全般」とし、町長からまちづくりの方針をご説明し、11カ所で延べ407人の皆さんから、多岐にわたるご意見、ご提案、ご質問をいただきました。

今回は、町政懇談会でお寄せいただいた主な質疑応答の中から、総合計画の基本計画に沿って紹介します。

※編集の都合上、実際の間答と一致しない場合があります。
※回答は、町政懇談会の時点のものです。

安心と生きがいのある福祉のまちづくり

Q 出合いの場が無い、という話を聞いた。町は子育てや教育など生まれた後の施策は考えているが、それ以前の問題として、出合いの場を提供することが必要だと思う。

A 出合いの場の提供について後方支援はしていますが、積極的なことはできていません。イベント等をおして出合いがあれば期待はしています。府の予算に、出合い・結婚・子育て支援が含まれおり、それを踏まえて町も、出合いの場の提供、出産前後の積極的な支援を検討していきたいと思えます。

Q 夏休みの学童保育は4年生までが対象とあるが、5・6年生も対象としてほしい。

A アンケートの結果、特に4年生の学童保育に強い要望があり、今年実施に踏み切りました。現在、社会福祉協議会に委託し、7カ所、やすらの里を借りて町直営で1カ所実施しています。児童福祉法の改正で来年4月以降は6年生までが対象となります。課題として場

四

所がないという問題があります。また、保護者のニーズとして専門的な人に見て欲しいという希望があり指導員の確保が難しく、早急な手配が必要な状況です。

Q 女性の管理職（幼保育園長を除く）があまりにも少なく、有能な女性職員もおられるので積極的に登用していただきたい。

A 幼稚園長、保育所（園）長として、女性の管理職を登用しておりますが、庁舎等の職員の中にも有能な女性職員がおりますので、管理職として適材適所で登用していきたいと考えています。

Q 社協加悦事務所が老朽化のため、取り壊しをすることがは前町長から聞いているが、学童保育で多くの方が利用しているの、場所を役場で斡旋してほしい。

A 社協加悦事務所は、老朽化、耐震構造にもなっていないため、長く使っていただけの施設ではありません。加悦の3つの保育園を統合して、認定こども園にする予定ですので、3つの保育園が空くことになり、学童として活用できます。

Q 町の診療所の診察料金が高いように思う。

A 病院、診療所の診察料は、全国どこも同じ基準で算定しており、与謝野町国保診療所が高いということはありません。ご理解をお願いします。

伝統を活かし未来にチャンレンジする産業づくり

Q 阿蘇シーサイドパークのにぎわい醸成プランについてどのような内容が伺いたい建物などを建てるのか。

A 大きな箱モノを作るつもりはなく、既存の空きスペース、空き工場などを再利用し、モノづくりも絡めてにぎわいを醸成したいと思えます。海の京都事業、町のブランド戦略と歩調を合わせ、岩滝地域の観光資源を再発掘する過程を通して阿蘇シーサイドパークのにぎわい醸成を考えています。それには、大内峠、クアハウス岩滝、阿蘇海なども一体として考え、魅力ある資源を発掘・選定していきます。試験的に出店を考慮した場所の貸し出しを考

えています。

Q 財源の裏づけ、町政の基盤となる税収確保、産業政策、人口減少対策など長期のビジョンは？

A 与謝野町はものづくりの地域であると考えています。高品質で素材の良いものを製造している地域なので、その地盤を大切にしながら、付加価値を加え、そして販路を拡大することで産業振興の突破口にしたいと考えています。

Q 昔からある産業の販路拡大等により与謝野町の産業発展につなげていきたいということだが、与謝野町独自の新しい発想は？説明を聞いても新鮮さが見当たらない。

A 補正予算の計上までに時間がありなかつたため、今回の予算はこれからの展開を

していく上での頭だし予算と捉えています。

Q ものづくりのブランド化とはどういったことが、ちりめん街道にお金を投資して、見返りがないのであれば、方向転換をしていただきたい。

A ちりめん街道エリアで、お金を落としてもらう仕組みを役場として用意しているものはありません。現在、海の京都与謝野町実践者会議のメンバーを中心として、このエリアにおいて、住民が大切にしていく地域資源の再確認とそれをどう感じてもらうのかを話し合っていたらいいと思います。ハードの整備を行うものではありません。まずは、意識を同じ方向に向けてもらうムード作りから行っています。

ブランド化について与謝野町は織物業・農業をはじめとするものづくりにおいてレベルの高いものがあると考えています。これら商品の付加価値を高めるために作業として何が必要なのかといった視点が重要と考えています。

また、自分たちでは見出しにくい価値を外部有識者などの目線を入れることによって新た





に取り組みを進めていきます。

10 ちりめん街道の年毎の集客人数について教えてもらいたい。本当に観光地として整備するに値するのを知りたい。

A 平成24年度の観光庁の調査結果によると与謝野町全体で入込客数が70万7683人でした。その内訳としては、日帰り客が68万2499人、宿泊客が2万5184人という状況であり、滞在型の部分に非常に弱いということが分かります。ちりめん街道については宿泊をする場所が少ない状況で、ちりめん街道への入込客数は10月に行われているちりめん街道まるごとミュージアムというイベント時でも3〜4000人程度となっております。

ちりめん街道の現在の状況は滞在型観光の面で弱さを持つているということは否めません。だからといってちりめん街道の生活空間を観光的に変えていくとするのではなく、まちづくりという視点に立ち、地域資源をつなぎ合わせることで、地域の方々も盛り上がりつついていくといった、まちづくり観光に置き換えようというのが現状です。そういった部分でちりめん

街道は全くの無駄になる場所ではありません。

11 当地域は、若者が大学を卒業しても就職先がない状況にある。人がいないと町は成り立たない。30年後、40年後を見据えたビジョンをお聞かせ願いたい。

A 与謝野町は「ものづくり」のまちだと思っています。素材に付加価値をつけ製品として国内外で販売するという循環システムを早期に確立することで産業を振興することにより、人を増やしていきたいと考えています。

12 産業振興会議を設置されているが、絵に描いた餅にならないようにしてほしい。

A 産業振興会議の第1期の成果として、中小企業振興条例の制定。第2期では、① ネットワークづくり、② 価値の創造、③ 地産地消（地産地紹）の提言をしていただきました。現在は、第3期に向けて準備をしているところであり、与謝野ブランド戦略会議（仮）を立ち上げ、外部有識者の視点も入れて、スピード感をもって取り組んでいきたいと考えています。具体的には、阿蘇ベイエリア

やちりめん街道など、地域の特性、地域の力、空き家、ブランド、景観といったさまざまな素材を掛け合わせて、新しい地域づくりができるよう、そのお手伝いをしていきたいです。

13 温江地区に農産加工施設ができるかと資料に書いてあるが、金屋にあるリフレかやの里とは違うのか？

A リフレかやの里のような町の農産加工施設ではなく、温江地区内の農業者が自ら主体となって地区内の農産物を活用した地域おこしをしているというものです。農産物加工施設を建設して地域で運営していくという事業です。

14 寝たきりや高齢者の避難時の保護等について町から自治区に対して、要請をもらっているが、個人情報の保護の関係で情報を公開してもらっていない。自治区に対して情報を公開できないか。

A 要保護者の情報は法律の壁があるため自由に提供することができません。該当する方が情報を公開してもいいと言われた場合は、災害時だけではなく平常時も含めて情報を公開することができますが、その人数が少ないのが現状です。情報を公開してもよいと言ってももらえるような状況にもっていきけるよう努力していきたいです。

自然と安全をまもる まちの基盤づくり

15 防災訓練は現在、旧町単位で毎年3月に行っている。各自地区の役員、隣組長の任期が終了する間に訓練をやってどの程度の効果があるのか。丹後大震災の時期に合わせた実施するのは分かるが本格的な防災訓練は新役員、新隣組長が中心となってやらなければ意味がないと思う。実施日の変更は考えられないか。

A 秋に実施する案を、野田川地域の区長会で提案をいたしました。今後、岩滝地域、加悦地域の区長会に相談することになるので、こういった結論になるか分からないが、来年秋季に実施できるよう進めていきたいと考えています。

16 奥滝の不燃物処理場について、使用期間があと10年くらいに思われる。今から次の候補地選定などいろいろな取

り組みの時期にきているのではないか。

A 昨年、残容量調査を実施したところ、加悦があと6年、岩滝が12年、野田川が36年もつというところであり、町全体では20年の猶予があるという結果になりました。このため、ある程度の余裕があると認識しています。

17 FM告知端末で、NHKやαステーションが聞けるが、FMたんごなども聞けるようにならないのか。

A FM告知端末については、NHKとαステーションは町内受診施設で放送レベルまで電波が達していますが、FMたんごは放送レベルまで電波が達していないため聞くことができません。

18 最近路上のごみの散乱が目立つので何か対策をお願いしたい。

A 週2回、不法投棄の監視パトロールや不法投棄ごみの回収を実施しています。不法投棄されやすい峠や交通量が少ない道路は重点的にパトロールを行い、不法投棄があれば、宮津警察署と連携して、犯人確保に努めており、毎年複数の検

挙の実績があります。

快適でやすらぎのある生活環境づくり

19 空き家対策について、地元が難しい部分があるので、区長はじめ自治会を主体とした調査委員会などを設置してはどうか。

A あくまでも外から見ての調査は実施したことがあり、次の手段を区と相談しながら進めていきたいと考えています。ちりめん街道の空き家バンクのようなことができないか検討していきたいと思っています。

20 ひまわりバスや200円バス、KTRの200円

制度などがあるが、まだ不十分。ひまわりバスの停留所まで行けない人はどうするのか。福知山で「介護移送」というものを実施している。バスの運行などは実際にどの程度利用があるか具体的に詰めて実施する必要がある。免許返納制度ももっと充実する必要がある。

A 200円バス、ひまわりバス、KTRの200円

利用者、運転免許の返納者など総じて増加してきています。

路線、停留所の細かい設定には限界があるため、バスの停留所まで行けない方の対応は福祉課でも課題としているところですが、社会福祉協議会の福祉有償運送も介護認定を受けている人や障害者の通院のみという規制があり、買い物などには利用できません。「介護移送」について研究していきたいです。

21 KYTのインターネット接続スピードが遅い。民間参入はないのか。京丹後市や宮津市にはNTTのフレッツのサービスがある。

A スピードについては、8月下旬をめどに、1.5倍の速度になるように整備を予定しています。

民間参入については、当時、採算が合わないという理由でNTTのサービス計画がなく今日に至っています。民間参入を除外しているわけではありませんが、現在のところ、民間参入の予定については聞いていません。京丹後市や宮津については、公設民営の形をとっていて、補助金の使い方が違っているのだと思います。



Q22 人口減少について、町長はどんな対策を考えているのか。

A まず第一は、産業振興だと思っております。町外に暮らす与謝野町出身者に話を聞いていると、与謝野町に帰って来たいが仕事がないという人が多いのが現状です。第2に、これから与謝野町を支える子ども・子育て世代への支援対策が重要になっていっていると思っております。産業振興と子育て支援策、この2本をもって積極的な人口減少への対策を行っていくことを考えています。

府の6月補正予算を見ていると、男女の出会いから結婚、そして出産・子育てまで、包括的な事業を用意しています。町単独でということではなく、関係機関、特に京都府と歩調を合わせ、取り組んでいきたいと思っております。

Q23 自転車道の草が伸び放題になっている。

A 自転車道の草については、皆さんの人から話を聞いています。

管理は京都府となっているため、与謝野町からも京都府に要望しています。

Q24 多種多様ののぼりが立つている。それぞれ有効に立っていると思うが、立てる場所が目につくようにとのことで交差点のようなところに多くあり、車の運転の際に見にくいことが多々ある。立てる位置の検討をお願いしたい。

A 昔は看板などで交通の妨げにならないようなところに加工して立てていきましたが、今は取り外しがしやすいようなのぼりが多く、交差点など立てやすいところに集中しているように思います。交通の妨げになるのは問題になるため注意します。

Q25 来年は終戦70周年を迎える。与謝郡遺族会があるが、岩滝地域の遺族会が加入しておらず、与謝野町としてひとつにまとまっていないことを残念に思っている。町としてひとつになれるよう働きかけてもらえないものか。

A ささまざまな思いがあったことだと思っておりますが、まずは、岩滝地域の会長の意向を確認していきたいと思っております。

Q26 上水道料金の値上げを行うといっていたが、議会で否決された。今後を含めて

ます。その方針案を昨年示させていただきましたが、地域ごとに1つの小学校に統合します。統合校は岩滝地域は岩滝小学校、野田川地域は市場小学校、加悦地域は加悦小学校とし、既存の校舎を利用します。それぞれの児童数を勘案して平成34年度から一斉統合することを基本方針としています。

各地域でさまざまな話題が出ていると思いますが、この方針について子ども子育て会議で見聞きたいということでも諮問をしています。

人が成長していく過程において、特に学校教育では多くの人たちに出会い、多様な価値観を認め合う、そういった組織が学ぶ上で重要だと考えています。

Q29 岩屋小学校の現1年生は5〜6人で、うち女の子1名である。少ない人数の中でいるより、多くの人数の中で切磋琢磨したほうがいいのではないか。早いうちに何らかのことを考えていただきたい。

A 子どもたちは多くの人に触れ合う中で、さまざまな考え方・価値観に触れ合い育つ、そうした環境を整備したいと考

今の状況を聞きたい。3月までは来年の春に値上げをしたいと言っていました。4月から新たに山添町政になり、改めて上水道統合後の一般会計からの繰出し額について、財政と協議調整を行っています。よって、来年春の値上げについては白紙にさせていただきます。

Q27 野田川駅のトイレ改修も、JRとの接続を便利にしたい。

A 福知山での乗り継ぎについては、今後もKTR、JRに要望していきます。野田川駅は町の玄関口であり、特にトイレをきれいにしてほしいという意見もあるのでご理解をお願いします。

明日の人材を育てる 教育文化のまちづくり

Q28 保育所等は認定こども園という具体的な案を聞いたが、小学校についてはその後話は進んでいるのか？

A 小学校の再編については、教育委員会で基本方針を定め、町もその方針で動いてい

えています。岩屋小学校については、平成34年度の統合をまたずに再配置・統合の必要性も感じておりますが、再編となれば受け入れる側の状況についても慎重に、いねいに、それぞれの地域での対応をしていかないとはいけません。

7月1日から教育長・教育委員も変わり、教育行政の担当部署である教育委員会との会議を重ねていかなければならないと考えています。

Q30 加悦中学校の入札が流れた件、説明していただきたい。

A 7月11日に入札会を行いました。当初、参加申し込みが2社ありましたが、1社は前日、1社は当日朝に入札辞退届が出されました。現在、原因究明に務めています。建設業界で仕事がたくさんある中で、特殊な業種（鉄筋工）の不足、材料なども高騰しており、各地で入札不調があると報道などで聞いています。

Q31 ある学校ではクーラーが入っていると聞いたが、同じ与謝野町で、導入されていない

るところとそうでないところがある。

A 加悦中学校の3年生クラスについては合併以前から導入済みです。また、熱中症対策などのことも考えると導入したいと考えています。かなり大規模な工事となります。衛生面のことから、配膳室は整備してあります。整備したことが無駄とならないよう、学校再編のことと合わせて、整備していきたいと考えています。

Q32 公民館活動は地域の生涯学習事業として大変重要なものだが、今後のことを考えると、①主事の育成、②先進地の研修視察をもっと実施すべき。今の町の取り組みでは、人材育成を軽く見ているように思うが、町の今後の方針などを聞かせてほしい。

A 公民館活動は現在、町指定の20館で展開されています。町の方針としては、①人権学習、②青少年の健全育成、③人が集まれる事業の実施の3点で、今後も推進したいと考えています。質問のあった2点については、年2、3回の主事会議と府の全体会議への参加で対

応しているのが現状です。人材育成については、合併後、全館足並みが揃うことに重点を置いておりましたが、これから次の段階として、人材の育成に力を入れていきたいと考えています。

Q33 住民自治活動支援事業という制度があるが、地域の夏祭りなどは、その年によって、収益の差が激しいため、継続的な補助をしてもらえないか。

A ソフト事業は、立ち上げを支援するという考えで3回までとしていますので理解いただけますようお願いいたします。

協働で進める まちづくり

Q34 庁舎統合について、町長の考えをお伺いしたい。

A 総合庁舎方式を目指しており、4年間で合意形成を図ることを基本方針としています。まずは、機構改革も含めて実施する野田川庁舎本館の閉鎖をしっかりと進めていきたいと考えています。





35 機構改革について、前町長から、地域振興課を廃止して住民係に、野田川庁舎本館を取り壊し、税務課を岩滝、住民環境課を移すということを示された。地域振興課は、便利が良くありがたい。住民係になると窓口が狭くなるのではないかと？

A 現在、住民・議会への提案を検討中です。住民係になってもできる限りサービス低下とならないよう、体制を組んでいきたいと思えます。合併以降職員が320人から279人と50人減となり、地域振興課の職員も減っています。あれば便利ということは分かりますが、人・お金を考えると必ずいる部分とあつた方がいい部分とがあります。現在、議論していただけるよう準備中なので、もう少し待っていただきたいと思えます。

36 国の指示でそうされていると思うが、職員の再任用数が8人、給与は45%だと聞いている。課長をされて定年後の45%であればかなりの金額になるかと思う。財政状況が厳しいいろいろな補助金等をカットしている中で、定年された方に

それだけの給料を払ってまで雇わなければならないのか。一方で新規採用が今年度は4人である。与謝野町で若者が働ける町にしたい、若いパワーがほしいと言いつつ、逆のことはしているように思う。

A 再任用の制度を今年の4月から運用しています。再任用職員8名のうちフルタイム3名、短時間勤務(週3〜4日程度)5名で、勤務先は、庁舎内勤務、保育現場、学校用務員、衛生プラントです。高齢化の進展に伴って、年金が60歳から65歳に支給開始年齢が引き上がっていくことになっており、年金との接続期間までの再雇用が、昨年3月に閣議決定されたため、4月から運用開始しました。

制度上は該当する退職職員が希望すれば再雇用しなければならぬことになっており、立場は非常に厳しいですがご指摘は真摯に受け止めてさせていただきます。

8月中旬から来年度の職員募集があり、昨年度より年齢基準を緩和して若い人がこちらで働くことができるように配慮しています。

37 行革で毎年毎年、各種補助金がカットされている中で、公務員だけ無年金期間を無くすため、この再任用制度を運用し、年間2000万円かかるというのは住民感情として納得できると思っているのか。

A 「地方公務員の雇用と年金を確実に接続するため、各地方公共団体において、この閣議決定の趣旨を踏まえ、能力・実績に基づく人事管理を推進しつつ、地方の実情に応じて必要な措置を講ずるよう要請いたします」という総務省からの通知はありますが、住民感情としてはこの再任用制度は問題があると感じています。

38 今後の財政調整基金の推移を教えてください。

A 現在の財政調整基金は平成25年度決算見込みで約16億あり、それを平成26年度に4億6千万円崩します。今後の見込みとして、今の行政サービスをそのまま行くと、平成27年度に約3億円の赤字、平成28年度に約5億円の赤字、平成29年度には約4億円の赤字となり、財政調整基金の貯金は底をつきます。なんとかこうならないよう行政改革に取り組みます。

39 岩滝大行列について今後も続けていく予定か。町として必要なのか。

A 大行列保存会としては次回も開催したいと伺っています。ただし開催経費としては、今までどおりとはいかないと思っております。しかしこれまでも関わってこられた方々の熱い思いがありますので、できる限りの支援をしていきたいと思えます。

40 人事評価システム導入事業という事で予算が組まれているが、具体的にどのような事業なのか？

A 人事評価システムを導入して、各職員が年度ごとに目標を立てて業務を行い、それを評価し、職員の能力開発・人材育成に取り組みます。将来的には給与や任用について反映させることを検討していきます。今年と来年が試行期間で平成28年4月から本格導入を検討しています。

41 区長のなり手が今後、なくなる可能性が大なので、もっと区長報酬があつてもよいと思う。

A 区長さんに置かれましては、区の代表として活躍

しいただいていることと認識していますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

今は区長報酬として年間24万円をお支払しています。

また、区長会の中でも代表区長と代表副区長の役職もあり、さまざまなお世話になってるので、今年から代表区長、副区長には1万円多くお支払いしています。

42 明石公民館新築について、94%450万円の高

値落札となり地区負担額が増えること、町税が多く使われることを残念に思う。2業者では競争の原理が働くのか懸念される。例えば、議会承認が必要な5000万円以上については、町外も入れて競いあつてもらうことがいいのでは？今後見直しをしてほしい。

A 中小企業振興基本条例の関係で地元発注としています。提案を受け、今後指名委員会でも議論したいと思います。

43 桑飼校区の公民館には事務員が在駐していないので、役場との連携をスムーズにするためにも役場OBを派遣していただけないか？

町内の各地区公民館について、公民館が町所有、地区所有で統一した形が取れていないのが現状です。OB雇用も含めて、今後の検討課題とさせていただきます。

44 野田川駅の担当が、多課にわたっているが一本化した方がいいのでは？

A 駅の管理は公共交通担当の企画財政課が行っています。町の玄関でもあり、その機能を生かすためにも一本化できるかどうかはわかりませんが、横の連携を密にしていきたいと思えます。

45 下水道の負担金を支払わなかった人の下水道接続に対応するのにか？

A 法律上、負担金を納めること、下水道接続は別の理解であり、町は歯がゆいと思いますが、受けざる得ない状況です。

46 町長は選挙戦において知遊館にて立候補者3名で討論会をされた。その際、町長の発言で印象に残っているのは

当選したら町長の報酬や退職金を削減すると言っていた。実際にどのようにされるのかお聞き

したい。

A 退職金の返納については、法律の整備や退職手当組合の関係などもあるので、調整しながらいつか行いたいと思っています。

報酬については、当選した直後に検討に入ろうとしましたが、さまざまなお関係からまずは退職金の返納について道筋をつけようかと判断しました。この件については4年後となるためまだ少し時間があるので、さまざまな課題を整備してどこかのタイミングで実施したいと考えています。

47 今回の予算概要の中で、ふるさと納税に対して本腰を入れられるようですが、昨

年の実績を教えてください。

A 平成20年度から制度が始まり現在までで32件、約580万円となっています。

48 ふるさと納税の実績約580万円の使い道はどのようになっていますか？ふるさと納税に対する特別な使い道は考えているのか？

A ふるさと納税をしていたら、使いだ道を6つの分野から選んでいただいております。580万円の細かい内

訳については区分していません。

49 町分譲地で売れていない箇所はどうなっているのか？

A 平成12年ごろから開始した分譲で売れ残りがあったので、平成23年度に不動産鑑定を行い実勢価格に見直しを行いました。それと同時に宅建業者に紹介してもらう制度を設けました。長い間町の分譲地は価格を下げないというスタンスでしたが、そのような時代ではなくなつたと判断し、平成24年度に見直しを行いました。

今後の情勢によってはさらに引き下げる可能性もあると考えています。

50 今夜の役場からの出席者に残業手当等が出ているのなら、こんなに大勢の出席の必要はない。

A 今年度の町政懇談会については、テーマを絞らず開催しているので、町政全般について即答できるよう、全課の課長が出席しています。課長については時間外勤務手当はありますが、一部受付等の職員は支給していません。

さらなる交流の発展を目指して

アベリスツイス交流 高校生派遣事業



故フランク・エバンス氏の墓前で平和の希求を誓う一団

7月5日から16日の12日間、山添町長を団長に町内在住の高校生6人を英国・ウェールズのアベリスツイスへ派遣し、ホストファミリーの皆さんや高校生との交流を深めました。さらに第2代与謝野町長となった山添町長も同行（7月5日～7月8日）し、希望していた行政機関やアベリスツイス大学関係者と懇談するなど、高校生の交流に加え新たな交流の第一歩を踏み出すことができました。

初めての夏季派遣

平成4年から高校生の相互派遣交流が始まり、今回が11回目の派遣。これまで秋季に派遣していましたが、初めて夏季の派遣となりました。これはアベリスツイスが位置するケレディギオン（Cardigan）州の方針で学生のホームステイが禁止されたことで、安価な大学施設に宿泊できるよう、学生寮が空いているこの時期の派遣としたためです。

ウェールズは北海道より緯度が高いため、この時期の日没は1年で一番遅い午後10時30分頃となり、一日がとて長く感じます。また、日中の気温は15℃～20℃程度で湿度も低くとも過ごしやすいですが、朝晩は寒いくらいで厚めの上着が必要です。



上/アベリスツイスのまち並み
右/故フランク・エバンスさんの墓参り



上/英国国會議員マーク・ウィリアムス氏と握手する町長
右/副学長らと会談

山添町長によるトップ会談

今回は町長自らアベリスツイスへ渡航し、これまでの高校生の交流に加え新たな交流の形を探ることが目的の一つでした。先方の友好協会会長のアウエル・ジョージ氏の尽力により、英国国會議員マーク・ウィリアムス氏、ケレディギオン州議会議長エレン・グワン氏、州議會議員レイ・カント氏やアベリスツイス町長ブレнда・ヘインズ氏と面会することができ、与謝野町の紹介、交流に対する理解やさらなる発展について懇談しました。

また、本町がシルクの産地、織物のまちであることから産業関連のつながりを模索するため、ウェールズの産業の一つである羊毛繊維産業を紹介するウール博物館を訪問し、ウール産業の現状を聞かせてもらい、実際に織機でウール



右・左/国立ウール博物館を訪問し、見学しました

生地を製造する現場を視察することができました。

さらに、アベリスツイス大学との交流を目指し、副学長のジョン・グラタタン氏、国際大学戦略担当教授のガリー・ランスリー氏と会談。本町の若い世代の住民がもっと世界を知ることができるようになりたい旨の希望を伝えたところ、大学と連携して奨学金制度を創設できないか、交換留学制度ができないかといった大学側からの提案があり、今後、本町と詳細の検討を進めることを約束しました。

アベリスツイス大学との交流については、今回、生物・環境研究施設を見学させてもらったほか、大学構内の案内や学部紹介、特に国際政治学部について詳細に説明いただくなど、これまでには深いつながりを得ることができたことは大きな成果となりました。



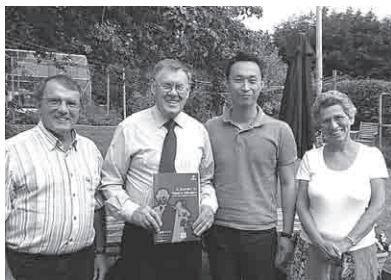
上・右/生物・環境研究施設の見学をする一行



ガリー教授（左から3番目）、ジョン副学長（右から2番目）



アベリスツイス町長と交流の継続を確認



州議會議員レイカント氏（左から2番目）と懇談

日本・与謝野町に拍手喝采

7月7日夕方から、行政・学校関係者、友好協会会員やホストファミリーの皆さんによる歓迎レセプションが催され大歓迎を受けました。

歓迎レセプションには、山添町長をはじめ6人の高校生、随員職員・通訳の9人全員が着物・浴衣に身を包み日本の与謝野町をアピールしました。

また、本町の高校生たちにより、猛特訓してきた「ソーラン節」を披露すると、多くの方から立ち上がって拍手が送られました。この日の様子は後日交流の意味と併せて、現地の新聞に取り上げられています。「ソーラン節」は、その後、2つのスクールでも披露し日本文化を紹介することができました。



上/歓迎レセプションで着物・浴衣に身を包み記念撮影
下左右/猛特訓を重ねたソーラン節を披露する高校生

広がる交流の輪



左/2006年に与謝野町長が植樹した椿の前で集合写真



右/旧加悦町が送った桜の前で集合写真

滞り期間中、この交流のきっかけを作った故フランク・エバンス氏のお墓参りをはじめ、古城、市場、国立資料館、ケレディギオン博物館などを見学し、ウェールズ、アベリスツイスの歴史・文化に対する理解を深めました。また、ホストファミリーが通うペンウェディグスクールや



現地の新聞でも今回の交流事業の様子が取り上げられました

ペンブライスクール、3歳から11歳が通うプライマリースクールでの交流、何よりホストファミリーとの交流によって、両町の交流の輪を一層広げることができました。

〔高校生アベリスツイス訪問記〕

この交流は、第2次世界大戦中、日本軍の捕虜となり大江山ニッケル鉱山で労働を強いられた英国軍兵士フランク・エバンス氏が、昭和59年に旧加悦町を訪問し、大江山運動公園に平和を願う慰霊碑を建立したことをきっかけに始まり、平成4年から友好の架け橋として高校生の相互派遣交流を進め毎年度受け入れと派遣を行い、年々交流が深まっています。

平成26年までにアベリスツイスの高校生55人、同じく与謝野町の高校生64人が互いの町を訪問。双方の友好協会などの関係者が、交流や体験を通じてお互いの国の歴史・文化・生活・習慣などを理解することができる貴重な機会となっており、また日本という国をあらためて見直し、戦争のない平和な世界を目指す人材の育成といった目的も持っています。

●フランク・エバンス
1917年ウェールズ出身。第2次世界大戦中、日本軍の捕虜となり、大江山鉱山での労働を強いられ、終戦と同時に帰国。40年が過ぎた1981年、大江山鉱山跡にたどりつき、晩年まで、旧加悦町とアベリスツイスの交流推進に力を注ぎ、多くの人から親しまれました。1996年11月6日亡くなる。享年79歳。



現地の高校生と交流を深めることができました

〔アベリスツイスでの主な行程〕

7/5 与謝野町出発、アベリスツイス到着	7/10 ミニS.L乗車体験、城跡見学
7/6 故フランク・エバンスさんの墓参り	7/11 国立資料館、ケレディオン博物館見学
7/7 国立博物館、歓迎セレブション	7/12 ホストファミリーと
7/8 プライマリースクール、ペンウェディグ校で交流	7/13 ホストファミリーと
7/9 マーケット見学、国定公園登山	7/14 アベリスツイス大学見学、ペンブライス校で交流
	7/15 日本へ向け出発
	7/16 与謝野町到着



学んだことは 平和とはなにか？

加悦谷高校3年 糸井 萌里美 (いとみ もりみ)

この研修でわたしが学びたかったことは、平和とはなにかということ。

平和ってなんだろうと考えたときに私が思いついたのは家族です。昔の戦争で捕虜になった人はもちろん、その家族も犠牲になったと思います。生きて帰ってきた人もいれば、病気で栄養失調で亡くなった人もいたでしょう。悲しむのはやはり家族だと思います。

ヘイルウェンに、「あなたにとって家族とはどんな存在？」と聞いてみました。ヘイルウェンは「家族は私にとってとても大切な存在。なぜなら私の人生に大きな影響を与えてくれるから。そして人生で大切な多くのことを教えてくれるから。」と答えてくれました。

家族がいるってすごく当たり前のことだけどとても幸せなことなんだと感じました。その家族がいて笑ったり泣いたり平凡な毎日を過ごすということが1番の平和だと思います。

だから今思うと私が勝手に思っているだけだけど最後、家で過ごした日は平和ってこういうことなんだよって教えてくれたのかなと思います。

今回の研修で、アベリスツイスの町、人、自然すべてが大好きになりました！次みんなに会うときには、今までこんなに頑張ってきたんだよと、みんなに誇れる自分でありたいなと思います。

物事についての考え方も変わったし、今まで以上に前向きになれました。そして、国際関係への興味ももっと湧いて進路も国際関係に変えていこうかなと考えています。

アベリスツイスと与謝野町との交流が、そして平和が永遠に続きますように・・・

エバンスさんの 伝えたかったこととは？

加悦谷高校3年 勝山 雄登 (かつやま ゆうと)

もともと自分は、海外に興味があり現地に行くことで日本の文化との違い、気候の違いを身を感じることも、将来なりたい職業が国外に関係があり少しでも行ってみたいからです。そのほかにはフランク・エバンス氏の話について少し知っていたので、もっと知るにはいい機会だと思い参加しました。

現地に行くこと文化の違いを身にしみて感じ、食事は当たり前に着る使わぬ生活、お風呂は朝に入るスタイルでした。学校では学校の広さ、制度、違うことがたくさんありました。

国外で働く仕事によりつきたいと思いましたが、「知ってもらふこと」の難しさを痛感しています。言葉の壁ではありません。私自身が、今まで暮らしてきた日本と与謝野町を知らなすぎるという、意外な盲点がありました。知らないことは伝えることができず、誇りを持つこともできないと思います。私もまずは、アベリスツイスの人たちのように自分のこと、自分の住む町のことももっと見つめ、よく知って自信と誇りを持つよう、まずは身の回りのことについて学習しなければならぬと感じています。

フランク・エバンス氏が大江山で捕虜として働かされていて、また再び与謝野町に訪問され今も続いているアベリスツイスと与謝野町との交流。事前研修で話を聞くと捕虜になっていた時代は共に働いていた友人の死、食べるものがなくカエルや蛇など食べていた苦しい生活だったそうです。この両町の交流でエバンス氏が伝えたかったことが少しわかった気がします。

戦争はしてはいけない、世界は平和であるべきだと強く思いました。もし戦争になり交流したことがある相手と鉢合わせになった時あなたはどうしますか。共に武器をおろし、平和を分かち合いますか。

この体験を自分から若い世代の方にエバンス氏のことが少しでも広く知ってもらえるよう伝えていきたいです。そしてこの両町の交流が長く続き、戦争のない平和な世界になりますように。



自分のまちを知り 誇りを持つことの大切さ

加悦谷高校3年 坪倉 由里 (つぼくら ゆり)

ハンナだけではなく、私の知るアベリスツイスの人々はみな、ウェールズに誇りを持ち生活されていました。私は、与謝野町や日本を知ってもらおうと意気込んでいましたが、「知ってもらふこと」の難しさを痛感しています。言葉の壁ではありません。私自身が、今まで暮らしてきた日本と与謝野町を知らなすぎるという、意外な盲点がありました。知らないことは伝えることができず、誇りを持つこともできないと思います。私もまずは、アベリスツイスの人たちのように自分のこと、自分の住む町のことももっと見つめ、よく知って自信と誇りを持つよう、まずは身の回りのことについて学習しなければならぬと感じています。

1人のウェールズ人兵士フランク・エバンス氏の捕虜体験という不幸な出来事に端を発した高校生の交流事業は、おそらくほかに例のない、特別なものだと思います。この事業に参加できた私たちは、平和の素晴らしさを認識し、交流の意味を理解し、このつながりを伝える使命があると思っています。人は皆、平和の尊さを知っているはずなのに、今なお紛争の中にある国や地域が存在し、苦しみ、悲しい思いをしている人々がいるということもまた事実です。なぜなんだろう。

私たちのアベリスツイス訪問は終了しましたが、ここから私たちの取り組みが始まります。知ったこと、学んだことをどう活かしていくのか。研修によって出会うことのできた私たち高校生6人が、長くこの取り組みに関わり、交流を続け、私たちがなりたいスタイルで考え続けたいと思います。

人との付き合いと 個人の楽しみ

京都共栄高校2年 井谷 穂高 (いたに ほたか)

人との付き合い方が素敵だな、と思われました。ちょっとしたことで、さらには道行く人であってもthank youって言ったり、sorry、と言えたり、また、自分が思ったことをちゃんと主張できたりするところは、素敵だなと思いました。日本では、みんなどうしても自分の言いたいことをついつい我慢してしまったりして、それであと嫌になったりしがちです。見習いたいと思いました。

また、時間の流れをゆっくりと感じました。日本のようにせわしくなく、みんな個人個人「今」と言う時間を楽しんでいるように感じました。こう見ているとただのゆるすぎるように見えますが、道路標識などは英語、ウェールズ語で書かれていたり、イングランドで1くりにされるのを嫌い、自分がウェールズ人であることに誇りを持っていました。

また、海外と言うと、少し距離を感じたり、する感じもあると思います。しかし、行ってみると、同じくらいの年頃の人と接したからか、意外と同じような考えだったり、オープンキャンパスに行っていたりと、どの国も言語が違うだけであまり変わらないなと思ったし、言語さえ分かればどんな人間も分かり合えそうだな、と思いました。

次回のときに行きたい！と思う人はぜひチャレンジして、日本のよさを伝え、ウェールズのよさをいろんな人にアピールしていただきたいと思います。

そして、僕自身も大学生になっても大人になってもこの交流に参加したいです。そして、エバンスさんが言っていた永遠の平和、がいつか実現されるよう願っています。



お互いの理解が 平和へ

宮津高校2年 岡野 晃大 (おかの こうた)

最終日に心に残った言葉があります。それは日本の高校を卒業し、アベリスツイス大学に入学、今は大学で講師をしている一人の男性の言葉です。「英語は世界に出れば必要最低限のツールであり、なければ話にならないが、それだけあっても意味がない」

今回の研修で分かったことは、英語は最低限の語力さえあれば、大丈夫で、より重要なのは相手の話を聞く意欲と自分をアピールする自己主張だと僕は思いました。

この研修で疑問に思ったこと、それは「なぜ、互いに戦争をしていた両国の町が、和解決し交流派遣事業が今なお続き、そしてホストファミリーがこんなに親切にしてくれるのか」ということです。今ではそれが分かった気がします。それは歴史が風化し過去を忘れたからではありません。過去を振り返りその上で前を見つめる時間が両国にあったから、今なお交流派遣事業が続いているということです。時間とは例えば、ケンカをして二人の仲が険悪になったすぐの時は二人共「あいつが悪い」と言うでしょう。しかし、頭を冷やし冷静になる時間があれば二人はまた以前のように仲良くなる、そんな経験はないでしょうか？

平和な世界をつくる、これは世界共通の理解です。しかし、まだ世界の各地で内戦やテロは続いています。宗教の違いや民族事情などから生まれるこの状況を打開する画期的な方法はない僕は思います。でも、お互いが理解しあう時間をもつことで「平和」は自然と歩み寄ってくと僕は今回の研修で学びました。

平和であることの 難しさ

福知山成美高校1年 財茂 宙 (さいも そら)

この訪問の一番の目的であるフランク・エバンスさんのお墓参りをしたり、植樹された与謝野町の木、椿を見に行き私が感じたのは、「平和であり続けるのは難しいようで簡単なのではないか」ということです。

この交流はフランク・エバンスさんやその周りの方、両町の賛同、協力があって実現しています。その賛同、協力を少なくとも与謝野町に広げていきたい、そう思います。広げることが難しいかもしれない、教科書からでは本当の戦争の怖さはわからないかもしれない。それでも進んで戦争しようという人はいるはず。いろいろな理由で戦争は起こっています。

なくすことは難しいかもしれないけれど、この文を読みやっぱ戦争はだめなんだと感じてもらい、フランク・エバンスさんのことを調べてくれる人が一人でもいてくれたなら、それを広げていけたら、私の研修、研修報告が役に立てた、といえるのだと思います。私の将来の夢は教師、音楽関係の仕事です。どちらも伝えることができる仕事だと思うし、この研修で身についた積極的に聞いたり、動いたりすることがこれからも必要になってきます。この研修で学んだことを生かしてがんばりたいと思います。

中学英語しかしゃべれなかったけど、コミュニケーションがとれたので、さらによくするように与謝野町にきてくれたときにもっと話せるように努力していきます。この交流によって自分の視野がひろがりました。この交流ができてほんとうによかったです。



今回の健やか広場では、運動サポーターが企画している「第7回よさの健康づくりのつどい」のウォーキングイベントについて紹介したいと思います。

「運動サポーターとは」
運動サポーターとは、一言で言えば「人に伝えて自分も健康」を実践する人です。自分の健康を自分で管理することはもちろん、教室や講座で得た知識や体験から学んだことを家族や友人、知人など周りの人にも広めていく役割を担っています。

与謝野町では運動サポーターの養成を平成23年度から開始し、平成25年度までに総勢61名の運動サポーターが誕生しました。そして、その運動サポーターは保健課の運動教室やイベントはもちろん、地域で活動されています。今年度も養成講座が始まっていますので、また新たな運動サポーターが誕生し活躍していただけることでしょう。

よさの「健康づくり」のつどいが今年も開催されます

今年で第7回目となる「よさの健康づくりのつどい」が10月4日(土)に野田川わーくばるで開催されます。第1部に女優の和泉雅子氏を招いての講演会・座談会を開催、第2部ではウォーキングイベントを開催します。

運動サポーター企画のウォーキング
このウォーキングイベントは運動サポーターが企画しています。コースの選定から始まり、コース内のお楽しみコーナーの考案、そこで使用する物品の作成などを行っていました。このウォーキングは運動サポーターのアイデアと楽しむ気持ち、町への思い、健康への思いあふれるものとなっています。

ぜひ一緒に歩いてみませんか? 運動サポーターがお待ちしております!

第7回
よさの「健康づくり」のつどい

【日 時】 10月4日(土)
【受付時間】 正午~午後0時30分
【場 所】 野田川わーくばる
【第1部】 午後0時30分~1時40分
①講演「歩いてつくる! 私の健康」
【講 師】 女優 和泉雅子氏
②座談会「歩いてつくる! みんなの健康」
【出席者】 和泉雅子氏、櫻井寿美氏



運動サポーターの皆さん

(有限会社フットクリエイト代表、山添藤真(与謝野町長)、小西隆博(与謝野町理学療法士))

【第2部】 午後1時50分~4時
ウォーキングイベント(小雨決行)
【定 員】 80名(先着順) ※5キロメートル歩けることが条件
【コース】 (スタート) わーくばる ↓野田川グラウンド ↓フォレストパーク ↓倭文神社 ↓サイクリングロード ↓農道 ↓わーくばる (ゴール) 約5キロメートル
※コース内にお楽しみコーナーを用意しています。

【その他】 ウォーキングイベントへの参加は申し込み制となっています。参加していただき、万一、事故が発生した場合は、主催者は傷害保険に加入している範囲内および応急処置以外の責任は負えませんのでご了承ください。天候によってウォーキングイベントは中止する場合があります。

●申し込み先 ☎43・1514または保健課窓口へ
●申し込み期限 9月19日(金) 午後5時15分まで
※会場への送迎はありません。

— 第23回京都府消防操法大会 —
野田川第1分団
小型ポンプ操法で堂々の4位入賞

「第23回京都府消防操法大会」が8月3日、府立丹波自然運動公園(京丹波町)で開催され、与謝野町の代表としてポンプ車操法の部に野田川第2分団が、小型ポンプ操法の部に野田川第1分団が出場し、野田川第1分団が4位入賞を果たしました。



上/府内26の市町村の消防団を代表し与謝野町消防団野田川第2分団宮垣班長による選手宣誓

野田川第2分団

●ポンプ車操法要員紹介
指揮者 宮垣清孝
1番員 安田隆也
2番員 森脇康直
3番員 山崎伸也
4番員 梅田

野田川第1分団

●小型ポンプ操法要員紹介
指揮者 大上雄一
1番員 高橋哲也
2番員 井上雄策
3番員 佐々木



【的確な操法を披露!】
府内の各市町村消防団の代表チームが集い、熱戦を繰り広げた今大会。ポンプ車操法の部には全9チーム、小型ポンプ操法の部には全22チームが出場しました。

操法は士気の旺盛さと規律、そして迅速かつ的確な機械操作で放水し、的確となる火点を決められた時間で倒すことが出来るかを競うもので、全国の消防団は2年に一度開催される操法の全国大会を最終目標に日夜訓練を重ねています。

与謝野町消防団も同様に府大会で優勝、全国大会への切符を手にするという目標を持ち、5月の下旬から厳しい訓練を重ねてきました。

今大会は、府内26の市町村の消防団を代表し与謝野町消防団野田川第2分団宮垣清孝班長による選手宣誓にはじまり、ポンプ車操法の部では9チーム中1番目、小型ポンプ操法の部では22チーム中8番目の出場となりました。

時折降雨もあり、グラウンドのコンディションが刻々と変化するような状況の中、野田川第2分団、野田川第1分団の要員らは、不安とプレッシャーをはねのけ見事な操法を展開。残念ながら優勝には及ばなかったものの、長期間に渡る厳しい訓練の成果を披露しました。

平成26年度全国統一防火標語「もういいかい火を消すまでは まあだだよ」

広告 Facebook はじめました

8月11日から与謝野町公式Facebookページを公開しています。

与謝野町の新しい動きや魅力を幅広くお知らせしていきます。皆さまの応援(いいね!)をどうぞよろしくお願いたします!

左のQRコードを読み取ってください。皆さんの「いいね」を待っています!

■運用管理者 与謝野町企画財課

広告 デジアナ変換終了のお知らせ

ブラウン管テレビ等のアナログ放送受信機でデジアナ変換放送を視聴されているご利用者は、地上デジタル放送視聴環境へお早めにご対応をお願いします。

■デジアナ変換放送終了予定日
平成27年3月末までに終了

【問い合わせ】 加悦地域振興課 CATV 係 ☎43-2378

広告 女性消防団員募集

私たち「ひまわりふれ愛隊」は、月に一度の定例会で活動内容を決め、音声告知放送、防火教室、救命講習など、火事等の予防啓発を中心に活動しています。

一緒にやってみようと思われる方は、総務課消防安全係(☎46-3004)まで。

こんにちは！ジェサイア・ジェファーズです。私は与謝野町に住み始めて今年で3年目になりますが、この町はとても良いまちだと思います。今年の夏はいつもどおり暑いですね。この記事を書いている今、外で雨が降り始めました。このような暑い天気が続く中で訪れた爽やかな休息に感謝しています。

私は夏の雨を見るといつも、過去の楽しかった出来事を思い出します。私が子どものころ、夏に雨が降ったときは、家族と親睦を深めたり一緒に冒険をしたりする良い機会でした。今月は、私の子どもたちの夏の雨に関する思い出を紹介したいと思います。

子どものころ、私は家の敷地の道でよく兄とバスケットボールをしました。雨が降ったら私たちはガレージで雨宿りをして、雨があがるのを待ちながら二人でいろいろなことを、例えば学校、女の子のこと、将来何になりたいかなどについて話し合いました。時々何も話さずに優しい雨音を聞くだけのこともありました。

また、雨が降ると度々、父は私や弟たちを連れ出して雨の中で「ホース」というバスケットボールのゲームと一緒に楽しみました。一人ずつガレージから出てシュートを打ち、次の人は前の人と同じ場所からシュートを打たなければいけません。シュートを外した人は終わることができないため、敗者はずぶ濡れになってしまいます。



雨の日はぜひ外に出てみましょう！

雨が長い間ひどく降り続けると、家が大変なことになることもありました。雨が降ると度々、私たちの家のポーチ（家の周りのひさし付きの部分）は雨水があふれました。こうなると私たちは長靴を履きシャベルを使って、できるだけ早くポーチから雨水を捨てなければなりません。大変な作業でしたがこの作業を楽しむため、父がゲームを作りました。順番で一人が「シャベル・マスター（シャベルの達人）」になって、5分間でどれだけ多くの水を捨てることができるかを競うもので、兄弟で順番に「シャベル・マスター」になって雨水を捨てることを楽しみました。

私たちの家の後ろには小さな谷があり、雨が降ると地面が酷く泥状になる場所がありました。雨が降ると私は、兄弟たちと一緒に古着を着て泥の中に遊びに行きました。ここで私たちは、泥の中に飛び込んだり、泥だらけでレスリングをしたりしました。家に帰ると母は驚いて、ホースの水で私たちを洗わなければ家に入るのを許しませんでした。

大人になった今でも、夏の雨には不思議な魅力を感じます。雨の中で新しいゲームや遊び方を見つけるのが大好きです。夏の雨は私に子どものころの楽しい思い出や素敵な家族を思い出させます。今でも雨を見ながら「将来何になりたいか」を考えます。

皆さんも、家族と雨の日の楽しみ方を見つけてみましょう！

公民館活動 [第27回 明石地区公民館活動]

明石地区公民館

明 石地区公民館では、「活気ある元気な明石区！区民総参加をモットーに、公民館活動推進委員会を中心に日々奮闘しています。重点的な活動としては、地域の宝である子どもたちが積極的に参加できる行事で、特に夏休み中に開催している「自然観察会（河川での魚とり）」では、多くの子どもたちに参加いただいています。自然に触れる機会が少なくなってきた中、仲間たちと豊かな自然に触れ、とった魚で学ぶなど、活気あふれる事業となっています。

また、夏祭りでは「小学生の合唱発表」として、「桑飼小学校校歌」「桑飼の宝」の2曲を披露いただいています。なかなか聴く機会がない「校歌」の合唱では、一緒に口ずさむ等、懐かしさも含め大変喜ばれ、地域の名所を親しみやすいメロディーにのせた桑飼小学校オリジナル曲である「桑飼の宝」も大好評でした。最後に、かるたとり大会の開催です。桑飼小学校の児童が地域のことを取り込んで作った手作りのかるたを使い、子どもから大人まで地域の事を再認識しながら、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



桑飼小学校児童による合唱

ほかの事業でも、子どもから大人までが参加しやすい事業作りを念頭に、後者は高齢者が参加しやすい事業も模索していきたく考えています。明るく元気な明石地区公民館活動を目指して、引き続き奮闘してまいります。

図書館へ行こう！

文房具の世界

学校や仕事でも、ペンやノートといった文房具は欠かせません。パソコンの普及で出番が減ったと聞く一方で、こだわりの使い方をする人も増えているとか。そんな文房具にまつわる本を紹介します。

『丸林さんちの机の上の小さな家具帖 ずっと使いつづきたい木の文房具から収納棚、雑貨まで』

丸林さんち/メディアファクトリー

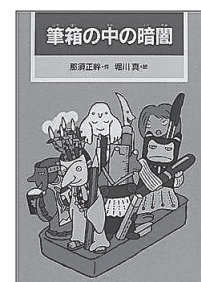
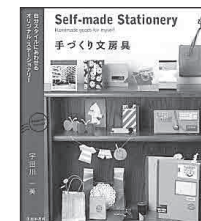
お気に入りの文房具を見栄えよく便利に使えるペン立て、テープカッターといった机まわりの収納をはじめ、ブックスタンドや椅子、テーブルまで作れる、手作り家具の本。あまり木工をしたことがない人でも作りやすいよう家具作りの基本の説明とともに、36個の家具の作り方を紹介しています。



『手づくり文房具 自分スタイルにあわせるオリジナル・ステーショナリー』

宇田川一美/池田書店

身の回りにある文房具では物足りない、もっと素敵にしたいという欲張りな願いをかなえてくれる1冊。自宅にある空き箱や包装紙などを活用したノートやファイル入れといった雑貨作りが、本に収録されている型紙や図案を参考に気軽にチャレンジできます。



『筆箱の中の暗闇』

那須正幹・堀川真/偕成社

「ズッコケ3人組」シリーズで知られる著者の短編集。タイトルの物語では、もう何ヵ月も学校にかよっていない子どもが主人公。学校に行きたくない理由は、かばんの中にある筆箱にあった…。当たり前の毎日にまぎれこむ不思議な世界を描いた、短めの話が収められており、学校の朝読書にもぴったりの1冊。

『いちにちぶんぼうぐ』

ふくべあきひろ/かわしまななえ/PHP研究所
文房具ってかしこそう。そう思って、1日だけ文房具になってみた男の子。クリップになったり磁石になったりするのですが、そのたびに大変な目にあってしまいます。文房具になった男の子のとんでもない姿に思わず笑ってしまうユーモアあふれる絵本で想像力がかきたられます。あなたならどんな文房具になってみたいですか？



『文房具を楽しく使う 筆記具篇』

和田哲哉/早川書房

文房具なんてどれも同じと思っている方へ、毎日使うものだからこそ、自分に合ったものを探してみませんか？この本では、シャープペンやボールペンなどのそれぞれの特徴や選び方を、具体的な商品を例に解説し、高価なものや装飾が美しいだけではない、実用的で生活を楽しくする筆記具の選び方・使い方を提案します。



- 今月の新着図書**
- 『子どもを本嫌いにならない本』赤木かん子/大修館書店
 - 『3日もあれば海外旅行』吉田友和/光文社
 - 『採用直結！履歴書・職務経歴書の絶対ルール』採用情報研究会/ナツメ社
 - 『食物アレルギーのすべてがわかる本』海老澤元宏/講談社
 - 『子育てハッピーアドバイス笑顔いっぱい食育の巻』松成容子/1万年堂出版
 - 『デジタル一眼撮影Q&A事典101』上田晃司/インプレスジャパン
 - 『フラダンスのはじめ』伊藤彩子/WAVE出版
 - 『皇后美智子さまのうた』安野光雅/朝日新聞出版

- 児童書**
- 『かえってきたへんしんトンネル』あきやまただし/金の星社
 - 『ベニーさんのサーカス』マリー・ホール・エッツ/徳間書店
 - 『ええことするのは、ええもんや！』くすのきしげのり/えほんの社
 - 『僕らが世界に出る理由』石井光太/筑摩書房
 - 『大出現！精霊図鑑』軽部武宏/あかね書房
 - 『親子でわかる！ニッポンの大問題』NHK「週刊ニュース深読み」制作チーム/NHK出版
 - 『思いつきのマーニー』小学館

図書館おはなし会	
<本館>	10月4日(土) 午後3時～
<加悦>	9月13日(土) 午前10時30分～
	10月11日(土) 午前10時30分～

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
●開館時間/午前10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

まちの話題 お届けします

●サマーチャレンジ2014

自分たちで考え挑戦しました

自分たちで考え、自分たちで行動する力を育成することを目的に毎年開催している「サマーチャレンジ」。今年は8月5日から8日までの3泊4日の行程で行われ、町内小学6年生の53名が参加しました。

今年も昨年に引き続き、リヤカーを引ながらの徒歩移動によるチャレンジで、岩滝体育館を出発地として丹後半島経ヶ岬灯台まで、全行程約45キロのコースで実施されました。

途中、子どもたちはいかだ作りや、いかだレース、防波堤からの飛び込み、自炊などの多くのプログラムを体験。雨に打たれることもあり、過酷な環境下での活動となりましたが、仲間と支えあいながら、さまざまな挑戦をした4日間は、何ものにもかえがたい体験となりました。



- 1 / 雨の中リヤカーを引く子どもたち
- 2 / 1日の最後にふりかえり
- 3 / チャレンジの合間、ご飯でひと休み
- 4 / 碓高原への急な坂道を登る
- 5 / 手作りいかだで海に漕ぎ出す子どもたち
- 6 / 灯台をバックに記念撮影



●与謝野町ひまわりフェスティバル

20万本のひまわりがお出迎え

与謝野町の風物詩として定着したひまわり畑。昨年度から会場をリフレかやの里付近に移しリニューアルされたひまわりフェスティバル。今回からは、民間イベントとするため、民間の関係団体を中心に、実行委員会が組織され、開催されました。

期間中は町外からも多くの方が訪れ、巨大ひまわり迷路、ひまわり畑をバックに写真を撮ったりと、満開のひまわりを満喫していました。

そのほかにも、力作ぞろいのかかしが揃った「かかしコンテスト」、模擬店などが、会場を盛り上げていました。



●人権強調月間

人権について考える

京都府と京都人権啓発推進会議は、毎年8月を「人権強調月間」と定め、基本的人権の尊重を訴えることで、一人ひとりの人権が尊重される豊かな社会をめざす取り組みを行っています。

与謝野町ではこの人権強調月間や人権の大切さなどを広く地域の方々に知ってもらうため、8月4日に加悦谷ショッピングセンターウィルで人権街頭啓発が行われました。訪れる方々に啓発物品を手渡し、人権の尊重を呼びかけました。

●きもの・ゆかた着付け教室

着付け技術を身につけました

きもの着付け教室が、6月10日から全4回(12講座)で開催され、夏季におけるさまざまな場面や機会に『自分できものを着て参加すること』を目的に31名の方が受講しました。

また、ゆかた着付け教室は、7月17日から全3回(9講座)で開催され、夏の季節に『ゆかたを着る機会づくり』を目的に41名の方が受講しました。

両講座とも、京都きもの藤原学院丹後分校のご協力により野田川わーくばるで実施され、閉講式では上達された素敵なきものにより、終始華やかな雰囲気になっていました。



着付け教室後に記念撮影

秋のお出かけは200円バスで!

蒸し暑かった8月が終わり秋の行楽シーズンがやってきます。町内でも多くのイベントが開催されます。今回はバスで行くことができる2つのイベントを紹介しますので、ぜひお得な200円バスで秋の行楽を楽しんでください。

9/21 よさの大江山登山マラソン大会

今年も大江山縦走コース(23.5km)、ちりめん街道コース(10km)、チャレンジコース(3.5km)の3コースで開催され、1,136人がエントリーしているこの大会。当日は混雑が予想され、会場から遠い駐車場を利用いただくことも多々です。

バス停からやや距離はあるものの、200円バスでお越しいただければ、駐車場の混雑は回避することができます。レース参加や応援で会場を訪れる方はぜひ200円バスでお越しください。

【日時・場所】

9月21日(日)

開会式: 午前9時~、レース: 午前10時~
ゴール・スタート: 大江山運動公園グラウンド
※詳しくは町ホームページをご覧ください。



乗車バスのご案内(岩滝・野田川方面から)

与謝線(与謝行)をご利用ください

行き

- 7:54 与謝の海病院~ 8:10 野田川駅前~
8:34 SL 広場西(会場まで徒歩10分)

帰り

- 12:47 SL 広場西~ 13:20 野田川駅前~
13:36 与謝の海病院
- 13:42 SL 広場西~ 14:15 野田川駅前~
14:31 与謝の海病院
- ※ 13:42の次の便は15:48となっておりますので、ご注意ください。

10/12 ちりめん街道まるごとミュージアム

国の重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」。その街並みそのものを博物館に見立て、丹後ちりめん着物ショー、地元特産品を販売する街道市や金色蚕糸神祭など盛りだくさんの催しが開催されます。また、この街道のシンボリック建造物「旧尾藤家住宅」も観覧できます。

会場のすぐ近くにバス停「ちりめん街道」があるので、バスでの来場が非常に便利です!

【日時・場所】

10月12日(日)午前10時~午後3時

ちりめん街道一帯

※イベント詳細は、ちりめん街道まるごとミュージアム Facebook にて随時更新しますので、そちらをご覧ください。



乗車バスのご案内

行き

- 9:29 与謝の海病院~ 9:45 野田川駅前~
10:09 ちりめん街道
- 11:30 与謝の海病院~ 11:46 野田川駅前~
12:10 ちりめん街道

帰り

- 12:56 ちりめん街道~ 13:20 野田川駅前~
13:36 与謝の海病院
- 13:51 ちりめん街道~ 14:15 野田川駅前~
14:31 与謝の海病院
- 15:57 ちりめん街道~ 16:21 野田川駅前~
16:37 与謝の海病院

10/1

200円バスの ダイヤが変わります

10月1日に200円バスのダイヤ改正が行われます。今回の改正では大きなダイヤの変更はなく、町内を走る路線では、伊根線・経ヶ岬線に若干の変更があるのみとなっています(与謝線・福知山線には変更はなし)が、ご利用の便に変更がないかご確認ください。新しいダイヤは9月25日に各ご家庭に配布する「第10版与謝野町・バス鉄道時刻表」をご覧ください。

「暴力や性犯罪の根絶」シリーズ⑤ すすめよう！男女共同参画

企画財政課 ☎ 46-3084

「暴力や性犯罪の根絶」

女性に対する暴力や性犯罪は全国的に後を絶たず、夫から妻への暴力被害や相談件数は増加の一途をたどっています。平成25年の全国の認知件数は、過去最多の4万9533件で、被害者の約9割が女性です。

住民アンケートの結果では、与謝野町においても「DVを受けたことがある」と答えた女性が4・8%あり、窓口での相談件数も年々増加しています。

最近では、交際中の若いカップルの間で起こる暴力（デートDV）も問題となっており、DVは決して大人だけに起こる問題ではありません。

DVは、殴る・蹴るといった身体的暴力に限らず、言葉や態度などで精神的に追い詰める「精神的暴力」、交友関係や行動を監視・制限しようとする「社会的暴力」、生活費を渡さないなどの「経済的な暴力」、「性的暴力」なども含まれます。

「DVかもしれない…」と感じたら、一人で抱え込まず、まずは相談してください。

主な相談窓口

【京都府北部家庭支援センター】
☎ 0773・22・9911

【宮津警察署相談室】
☎ 0772・25・0110

【京都府男女共同参画センター】
☎ 075・692・3437

【福祉課】
☎ 43・1513

【よさの虐待ほつとライン】
☎ 43・1516（与謝野町DV・虐待防止センター専用電話）

【DV相談ナビ】
☎ 0570・055210

緊急時・危険を感じたら迷わず110番

私たち住民の取り組み

男女共同参画計画（後期施策）

● DVやセクシャルハラスメントに関する相談先を日ごろから知っておこう。

● 身近にDVなどの疑いがある場合は、すぐに相談窓口へ連絡しよう。

● 有害な自動販売機や看板のないまちをめざそう。

平成26年度与謝野町男女共同参画啓発講座

『あなたのことがわからない！男と女のすれ違い』

脳の違いがわかればお互いナットク！

「わかる」から「認める」へ」

男女の意識や行動の違いを、脳のつくりや働きの違いから考えます。

脳科学の視点から、「なんでそうなの？」と分かるようになるよりも、「そうなんだ」と認めることもお互いを理解する1つの方法。家族・地域・職場など、男女のより良い関係をつくる方法を一緒に学びませんか？

■ 日時 10月18日（土）午後1時30分

■ 会場 知遊館

■ 講師 保野孝弘氏（川崎医療福祉大学医療福祉学部臨床心理学科教授）

■ その他 保育ルーム6カ月就学前）、手話通訳を希望される方は10月3日（金）までに電話、FAX、電子メールのいずれかの方法で企画財政課までお申し込みください。

■ 問い合わせ先 企画財政課 ☎ 46・3084

FAX 46・4630

Email kikakuzai@town.yosano.lg.jp

7 月入札結果

総務課 ☎ 46-3003

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
7/11	加悦小学校屋内運動場屋根外装等改修工事	加悦	2者	日置建設㈱	17,340	15,495	16,800	96.8	H26/7/16～9/30
7/11	与謝野町立明石地区公民館新築工事	明石	2者	安田建設㈱	81,060	71,641	76,790	94.7	H26/7/17～H27/3/31
7/11	林道大内線・成相線維持管理委託業務	岩滝他	4者	足立石油㈱	2,610	2,233	2,233	85.5	H26/7/22～10/31
7/11	石川地区面整備①工事	石川	5者	㈱井田建設	7,444	6,432	6,432	86.4	H26/7/18～9/30
7/11	温江地区面整備①工事	温江	5者	石本建設㈱	29,536	25,675	25,675	86.9	H26/7/24～11/17
7/11	宮野橋水管橋新設工事	加悦	5者	㈱三野工務店	3,304	2,901	2,901	87.8	H26/7/24～10/31
7/11	下水道関連配水管布設替（石川地区）工事	石川	8者	㈱三野工務店	5,099	4,455	4,455	87.3	H26/7/24～10/31
7/11	加悦中学校普通教室エアコン設置工事	加悦	8者	山崎電気㈱	6,730	6,024	6,024	89.5	H26/7/16～8/26
7/11	国道178号舗装本復旧工事	男山	4者	浅巻建設㈱	4,121	3,537	3,537	85.8	H26/7/18～9/30
7/11	与謝野町立明石地区公民館新築工事監理業務委託	明石	3者	一級建築士事務所 浪江建築事務所	2,250	-	1,880	83.5	H26/7/16～H27/3/31
7/11	与謝野町橋梁補修詳細設計業務委託（堂谷橋・大切橋・尾上橋）	石川他	9者	内外エンジニアリング㈱ 京丹後営業所	5,877	-	5,000	85.0	H26/7/18～9/30

暴力団の追放！「三ない運動+1」の推進

総務課 ☎ 46-3003

宮津与謝地域の行政・各種団体・企業等で組織する「宮津・与謝暴力追放推進協議会」では、安心・安全で住み良い社会を目指して、「暴力追放三ない運動+1」を推進し、暴力を許さない勇気と地域の輪が広がるよう努めています。

「暴力追放三ない運動+1」とは？

①暴力団を「利用しない」
暴力団を利用したつもりが、逆に利用されてしまいます。すべてを「金づる」にするのが暴力団です。

②暴力団を「恐れない」
暴力団を恐れず「存在を許さない」と皆で対決姿勢を持つことです。恐れることは暴力団を助長させることとなります。

③暴力団に「金を出さない」
暴力団に金を出すことは、結果的には暴力団を支援・容認することになります。

+1暴力団と「交際しない」
暴力団と交際すること自体が不当要求のきっかけになることがあります。暴力団が恐れているものは、あなたの暴力団を恐れない「勇気」です。

暴力団による悩み、困りごとは迷わず左記までご相談ください。

京都府暴力追放運動推進センター
☎ 075・451・8930

宮津警察署刑事課知能・組織犯罪対策係
☎ 0772・25・0110

法人町民税の税率が改正されます

税務課 ☎ 44-2084

平成26年度税制改正において、地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るため、法人町民税法人税割率を引き下げ、引き下げ相当分を国税化し地方交付税の原資とすることとされました。

与謝野町においても、平成26年10月1日以後に開始する事業年度分から税率12・1%に引き下げます。

（従来の税率14・7%）

※税率改正に伴う予定申告の経過措置については、通常

予定申告について、通常前事業年度の確定法人税割額または前連結事業年度の確定法人税割額の6ヵ月分を納めることとされています。

税率改正の経過措置として、平成26年10月1日以後に開始する最初の事業年度または連結事業年度に

ついては、前事業年度の法人税割額に4・7ヵ月を乗じて得た金額を前事業年度の月数で除して得た金額となります。

（予定申告の法人税割額・前事業年度の法人税割額×4・7ヵ月÷前事業年度の月数）

「海の京都」おもてなし環境事業を応援します

商工観光課 ☎ 46-3269

「海の京都・与謝野町マスタープラン」に掲げる戦略拠点において、新たな「おもてなし環境」の創出のために建築物を整備、改修等を行う場合、必要となる経費の一部を補助します。本事業を活用される場合は、事業着手前の段階で商工観光課へご相談ください。

対象者

①ちりめん街道をはじめ、加悦岩滝自転車道（野田川駅～加悦SL広場）など「海の京都・与謝野町マスタープラン」に掲げる戦略拠点の建築物等の整備、改修を行われる方

②この補助金に係る整備、改修等を行う施設で、補助金の交付を受けた日から2年以上事業を実施する意思がある方

③市町村税等を滞納していない方

■補助金額
対象事業費の1/2以内で、上限200万円

■対象事業
建築物等の外観および内装改修工事、店舗内設備充実等

※居住部分に係る経費、経常的な経費（事務費、人件費

光熱水費等）、食糧費、不動産取得費等は対象外となります。

※本補助金の交付決定があった日の属する年度末までに工事を完了する必要があります。

注意事項

①補助金の交付は同じ建築物・工作物で1回限りとなります。

②対象事業の施工業者等は、原則、町内に事業所等を有する法人または個人事業者に限ります。

③ちりめん街道内では、「与謝野町伝統的建造物群保存地区保存条例」との整合を図る必要があります。

④対象物件・内容によっては、海の京都・与謝野町実践者会議の委員に意見を聴き、補助金交付の適否を決定する場合があります。

⑤ちりめん街道内の空き家を活用して出店等を計画される場合は、「ちりめん街道空き家バンク制度」に事前登録の必要があります。

⑥ちりめん街道内の建築物の外観を改修される場合は、ほかの制度を活用できる場合があります。

今月の納期
 9/30 (火) まで
 固定資産税 第3期
 国民健康保険税 第4期
 介護保険料 第4期

滞納税相談窓口
 ※納期を過ぎた町税の納付相談窓口
 京都地方税機構 丹後地方事務所
 京丹後市役所 大宮庁舎 3階
 ☎ 0772-68-1041

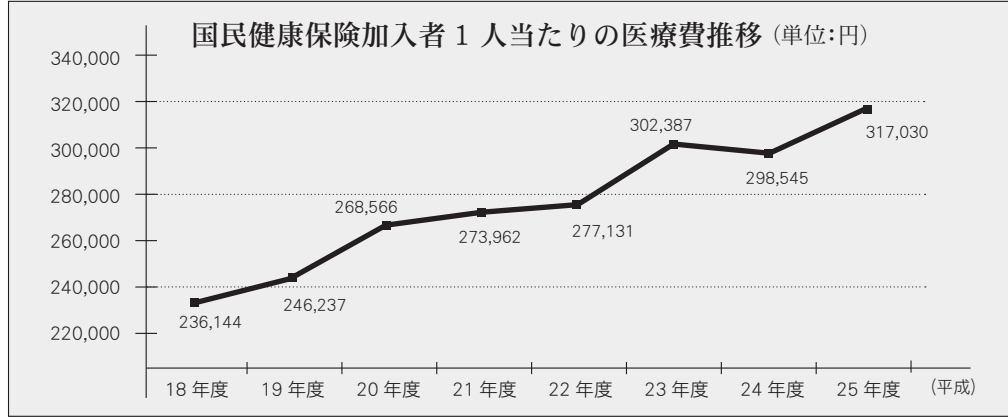
- 与謝野町役場**
 ☎ 46-3001 (代表)
- 岩滝地域振興課
 ☎ 46-3002
 総務課
 ☎ 46-3003
 ☎ 46-3004 (消防安全係)
 企画財政課
 ☎ 46-3084
 ☎ 46-3085 (情報システム係)
 建設課
 ☎ 46-3267
 商工観光課
 ☎ 46-3269
 会計室
 ☎ 46-3007
- 野田川庁舎**
 ☎ 44-2081 (代表)
- 野田川地域振興課
 ☎ 44-2082
 住民環境課
 ☎ 44-2083
 税務課
 ☎ 44-2084
 水道課
 ☎ 44-2085
 下水道課
 ☎ 44-2086
- 加悦庁舎**
 ☎ 43-1511 (代表)
- 加悦地域振興課
 ☎ 43-1512
 福祉課
 ☎ 43-1513
 保健課
 ☎ 43-1514
 農林課
 ☎ 43-2191
 議会事務局
 ☎ 43-0215
 教育委員会 教育総務課
 ☎ 43-2192
 教育委員会 教育推進課
 ☎ 43-2193

与謝野町国民健康保険の状況について

国民健康保険より 図 保健課 ☎ 43-1514

国民健康保険(国保)は、加入する方が必要とする医療を安心して受診できる仕組みであり、この制度を維持するのは1人1人の支えあいにより、近年の医療費は、年々増加する傾向にあり、これに対応するため、あらゆる医療費対策が実施、検討されていますが、与謝野町でも同様に医療費が増加傾向にあり、安定的な国保運営に向け、みなさまにも医療の適正受診と必要な保険料の納付をお願いします。

与謝野町 国保医療費の状況
 与謝野町国保の医療費については、下図のように上昇傾向にあり平成25年度の与謝野町国保加入者一人あたり医療費は、



※グラフの医療費は、医療機関で診療を受けた医療費の総額であり、国保負担額と自己負担額の合計です。また、後期高齢者医療制度加入者分は含みません。

平成18年度と比較し約8万円の上昇となっています。

与謝野町 国保財政の状況
 国保の医療費をまかなうのは、基本的に国保加入者に納付いただく保険料と国等の補助金となります。近年の与謝野町国保では、保険料と補助金で医療費をまかないきれず、これまで積み立ててきた基金(貯金)を取り崩したり、一般会計からの財政支援(繰入金)により国民健康保険を運営している状況となっております。将来の国保運営を見据えると非常に厳しい財政状況となっております。このような状況の中、非常に厳しい地域経済状況ではありますが、安定的

街頭啓発活動を実施しました。与謝野町交通安全対策委員会では、8月2日に古墳公園の駐車場を利用し、街頭啓発を実施しました。宮津警察署と連携し、飲酒運転根絶をスローガンに、夏の交通事故防止府民運動のチラシや反射タスキなど啓発物品を配布しました。

与謝野町交通安全対策委員会では今後さまざまな啓発活動を行い、交通安全故のない安全で住みやすいまちづくりに努めます。

街頭啓発活動を実施しました

瑞宝双光章
須田芳一さん
 須田芳一氏(算所)は、昭和19年加悦国民学校に勤務して以降、町内の小学校を主な勤務地として昭和62年3月に市場小学校を校長で退職するまでの約42年の長きにわたり学校教育の推進に大きく寄与されました。退職後も与謝野町老人クラブ連合会の会長や社会福祉協議会の評議員などの要職を歴任、地域においても社会体育スポーツクラブの代表として尽力し平成10年には算所地区代表として大臣表彰を受賞されています。この度、学校教育および社会体育の推進・発展への多大な功績・貢献が認められ、受章に至りました。

ご連絡ください!
 「家屋の新築・増築・取り壊し」 図 税務課 ☎ 44-2084

「家屋」に係る固定資産税は、毎年1月1日から12月31日までに新築または増築された家屋に対して、建築した翌年度から課税され、取り壊しをした場合は課税されなくなります。

そこで本年中に、家屋の新築、増築または取り壊しをした方、または12月末日までにする予定のある方は、税務課までご連絡ください。

なお新築または増築をした場合は、家屋評価のため現地での調査を行いますので、調査に当たってはご協力をお願いします。

■家屋とは?
 住宅や店舗、作業場、事務所、車庫など(プレハブを含む)の建物をいいます。

■問い合わせ先
 税務課 ☎ 44-2084

交通安全に取り組んでいます!
 交通安全対策委員会日より 図 総務課 ☎ 46-3003

街頭啓発活動を実施しました。与謝野町交通安全対策委員会では、8月2日に古墳公園の駐車場を利用し、街頭啓発を実施しました。宮津警察署と連携し、飲酒運転根絶をスローガンに、夏の交通事故防止府民運動のチラシや反射タスキなど啓発物品を配布しました。

与謝野町交通安全対策委員会では今後さまざまな啓発活動を行い、交通安全故のない安全で住みやすいまちづくりに努めます。

街頭啓発活動を実施しました

オータムジャンボ宝くじ発売!
 今年のオータムジャンボ宝くじは1等・前後賞合わせて3億9千万円!
 この宝くじの収益金は地域住民の福祉向上のために使われます。

1等 3億3千万円
 前後賞各 3千万円
 発売期間 9月19日(金)～10月10日(金) ※売り切れ次第終了
 発売場所 全国の宝くじ売り場 ※通信販売でも購入できます。
 抽せん日 10月17日(金)



お悔やみ (敬称略)

町内に配布している
 広報誌には掲載しています

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、7月16日から8月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

おめでとう (敬称略)

町内に配布している
 広報誌には掲載しています

まちのうごき
 平成26年7月末現在
 人口 23,401人 (-35)
 男 11,125人 (-22)
 女 12,276人 (-13)
 世帯数 9,150戸 (-4)
 ※括弧内は前月比

TOPICS

加悦谷高校生徒と町長との対話授業



7月19日、恒例の「加悦谷高校生徒と町長との対話授業」が行われました。これは、高校生の生の声をまじづくりに生かそうと始まった取り組みで、今年で8回目となります。

過去の対話授業で提案されたごみのポイ捨て防止PR番組を生徒たちが制作しKYTで放送されるなど、ここでの意見がいくつも実現しています。
この日は、3年生の生徒



役員を中心に10人の生徒が参加。職員による出前講座で事前学習をして対話授業に臨んだ生徒たちからは、幅広い分野にわたって、さまざまな意見が出され、積極的に町長と意見を交換しました。ここでは、この日生徒たちから出た意見を抜粋して紹介します。
▽不審者がサイクリングロードで出ていたが、サイクリングロードに街灯がない。対応をお願いしたい。



▽少子高齢化といわれているとおり、子どもが減っていると思う。結婚や就職で戻ってきたくなるような政策を考えているのか。

▽わたしたちは高校生で、あまりお金を持っていない。低価格のファミリーレストランやファストフードがほとんどない。増やしたりできないのか。

そのほかにも、山添新町長ということもあり、町長自身への質問も多くあり興味津々の生徒たちでした。

また町長から生徒の皆さんに、卒業後の進路について質問がされ、「地元で就職する」、「町外へ進学する」、「保育士になるために進学する」と生徒たちは自

分たちの進路・夢を話しました。

そして町長からは、「若い人材が与謝野町を出ていくことは痛手。しかし、自分のやりたいことを第一に考えてほしい。地元を離れても、地元とかかわっていることはできる。人間関係を維持することで、地域活性化に寄与できるはずなので、友達の進路もしっかり把握しておいてください」と生徒へ今後のアドバイスとエールが送られました。



最後に笑顔で参加生徒と記念撮影

